

分科会等名： 循環器・内分泌・代謝分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	臨床医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>内分泌代謝学は生態制御の根幹をなす領域である。その障害は糖尿病をはじめ多数の重要な内分泌疾患、代謝疾患として重篤な結果をもたらすため成因の解明及び治療対策の開発は必須である。近年、高齢社会の到来によって、従来の古典的な内分泌代謝器官に止まらず循環系などの全身の臓器のホメオスタシスという視点から学術を発展させる必要がある。とくに生活習慣、特に栄養の因子を加えた疾患解析の重要性が増しているため、一次予防とともに臓器障害や生命予後に関わる身体イベント（脳卒中、心筋梗塞など）の予防、すなわち二次予防についても対応しなければならない。そこで内分泌代謝学だけでなく循環器学を包含して、学術を推進し、医療に還元するために本分科会で適切な提言を行う必要があると考える。</p> <p>(名称変更理由)</p> <p>高齢社会で増加している慢性疾患、特に心血管病や生活習慣病の病態は、各器官やシステムが独立して生ずるのではなく、システムが相互に連携して形成される。したがって循環系、内分泌系、代謝系を俯瞰し、各システムの相互作用を明らかにするとともに、新しい病態理解とそれに基づく診断・治療法の開発が強く望まれる。同時に社会との連携についても、循環系、内分泌系、代謝系の研究者が議論を重ねる必要がある。</p>
4	審議事項	<p>(1) 高齢化社会における新しい循環内分泌代謝学の推進についての検討</p> <p>(2) 循環内分泌代謝疾患に関するデータベースの構築などについての検討</p>
5	設置期間	常設
6	備考	

